

「あなたも読めるようになる」古文書講座（2）

令和七年度から三年計画で、「あなたも読めるようになる」と題した、新たな古文書講座コーナーを設けました。古文書を読むことが初めてという方を対象として、古文書読解の手ほどきをしていきます。

第一年次（昨年度）

返読文字が含まれた言葉を読んでみましょう。

第二年次（本年度）

返読文字が含まれた短い文を訓読してみましょう。

第三年次（令和九年度）

実際に古文書をテキストとしながら、江戸時代の年貢高や貨幣の単位などに注目して、読み解いてみましょう。

古文書というと近世（江戸時代）のイメージが強いと思いますが、くずし字を用いたり、返読文字を入れて記述したりする習慣は、近代の文書でも見られます。

今は、ワープロの文字が浸透し、くずし書きに出会うことが少なくなっていました。時々飲食店の看板やメニューの中で、くずし書きを発見することがあります。墨書を見ると、何となく懐かしさや温かみを感じるのは、どうしてでしょうか。

はじめに前回のおさらいです。返読文字を含む言葉を幾つか提示します。例えば「可及」という言葉には、「可」という返読文字が含まれているので、訓読する時は「およぶべし」と読みます。提示された言葉の下に、読みを書いてみましょう。

返読文字が含まれる言葉を読んでみましょう。

不「ず」 打消しの助動詞 活用語の未然形に付きます

○ 不顧 「ず」

○ 不惑 「ず」

無「なし」 形容詞 物や人が存在しないことを意味します

○ 無申訳 「（終止形で）」

○ 無沙汰 「（終止形で）」

有「あり」 自動詞 その場にいることを意味します

○ 有之由 「」

○ 有意義 「（終止形で）」

この頁の密え

- ①かえりみず
- ②まどわす
- ③もうしわけなし
- ④さたなし
- ⑤これあるよし
- ⑥いぎあり

奉 「たてまつる」 補助動詞 謙譲の意 お・・・する

⑦ **奉存** 「 (終止形で)

⑧ **奉仰** 「 (終止形で)

可 「べし」 当然・義務・予定などの助動詞 活用語の終止形に付きます

⑨ **可申付** 「 (終止形で)

⑩ **可相渡** 「 (終止形で)

被 「る」「らる」 自発・受身・可能・尊敬の助動詞 活用語の未然形に付きます

⑪ **被仰付** 「 (終止形で)

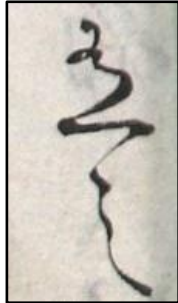
⑫ **被仰出** 「 (終止形で)

この頁の答え

- ⑦ぞんじたてまつる ⑧おおせたてまつる ⑨もうしつくべし
⑩あいわたすべし ⑪おおせつけらる ⑫おおせださる

古文書の原文から返読文字が含まれる句を切り取って
みました。それぞれのよう読みとよいでしょうか。
例にならって翻字と訓読を書いてみましょう。

例



翻字

有之

訓読

これあり

①



趣

②



③



④



この頁の答え

- ①「有之候」(これありそうう) ②「無之趣」(これなきおもむき) ③「無御座」(ござなし) ④「不申候」(もうさずそうろう)

翻字

訓読

⑤

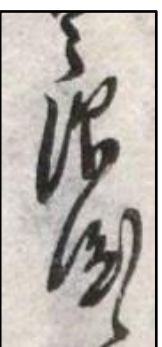


候

⑥



⑦



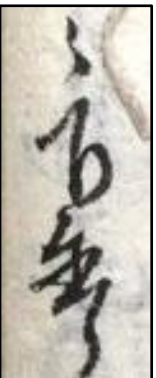
被

⑧



終止形で

⑨



この頁の答え

- ⑤ 「奉願上候」 (ねがいあげたてまつりそうろう) ⑥ 「奉畏候」 (かしこみたてまつりそうろう) ⑦ 「被仰渡候」 (おおせわたさる) ⑧ 「被下置候」 (くだしおかれそうろう) ⑨ 「被下置候」 (くだしおかれそうろう)

翻字

訓読



Red box for the kanji reading of the character '可'.

Blue box for the reading of the character '可' in the final form.



Red box containing the kanji reading '罷出' (hai-de) for the character '可'.

Blue box for the reading of the character '可' in the final form.



Red box containing the kanji reading '恐' (kyō) for the character '可'.

Blue box for the reading of the character '可' in the final form.



Red box containing the kanji reading '以' (i) for the character '可'.

Blue box for the reading of the character '可' in the final form.

終止形で



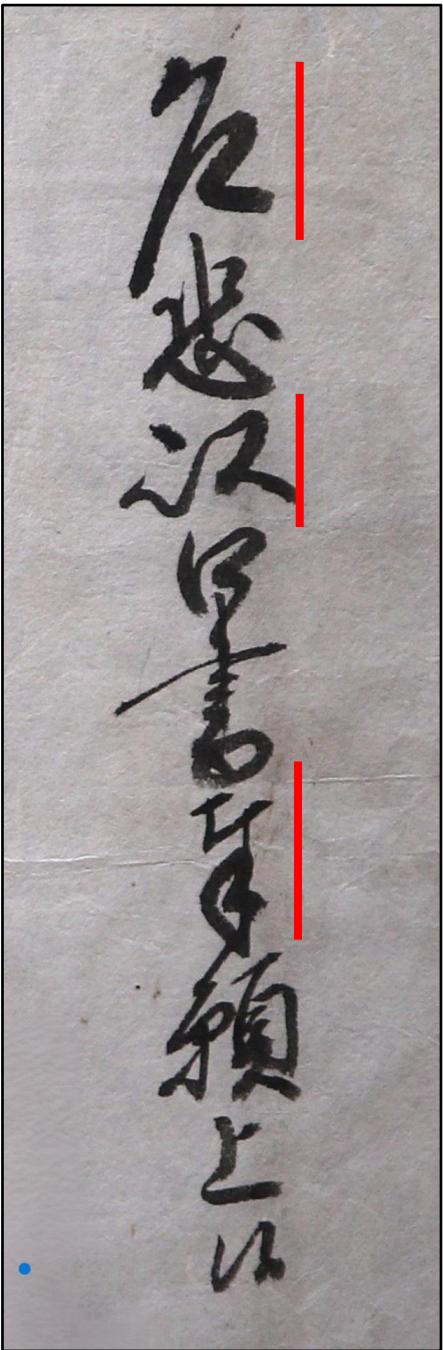
Red box for the kanji reading of the character '可'.

Blue box for the reading of the character '可' in the final form.

この頁の答え

- ⑩ 「可及」 (およぶべし) ⑪ 「可罷出候」 (まかりいづ
「ず」 べくそうろう) ⑫ 「乍恐」 (おそれながら) ⑬ 「以
書付」 (かきつけをもって) ⑭ 「以廻文」 (かいぶんをもつ
て)

次の古文書を読んでみましょう。返読文字にサイドラインを引いています。訓読する時は、語順を逆にして上に返って読んでみましょう。



翻字

	恐						上	候
--	---	--	--	--	--	--	---	---

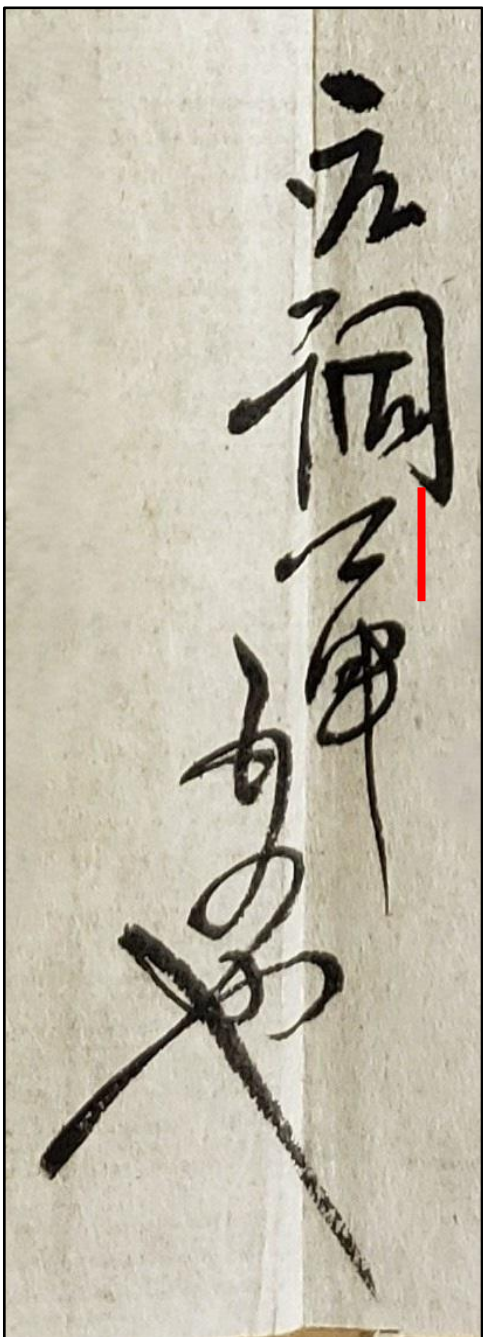
訓読（漢字を入れていきます）

恐	れ				口	書	を		
	願	い	上	げ					

候
ひらがなで、穴埋めをして下さい

この頁の答え
翻字「乍恐以口書奉願上候」 訓読「恐れながら口書をもつて願ひ上げたてまつり候」

口書（くちがき）には、端書き・序文の意味と、裁判における供述や取り調べに対する返答を記した調書の意味があります。



翻字

取

也

訓読

（漢字を入れていきます）

取

調

申

也

この文は、明治五年（一八七二）に岐阜県が郡上郡の惣代たちへ発した文書の末尾にあたるものです。命令の意思が感じられます。

この頁の答え

翻字「取調可申もの也」

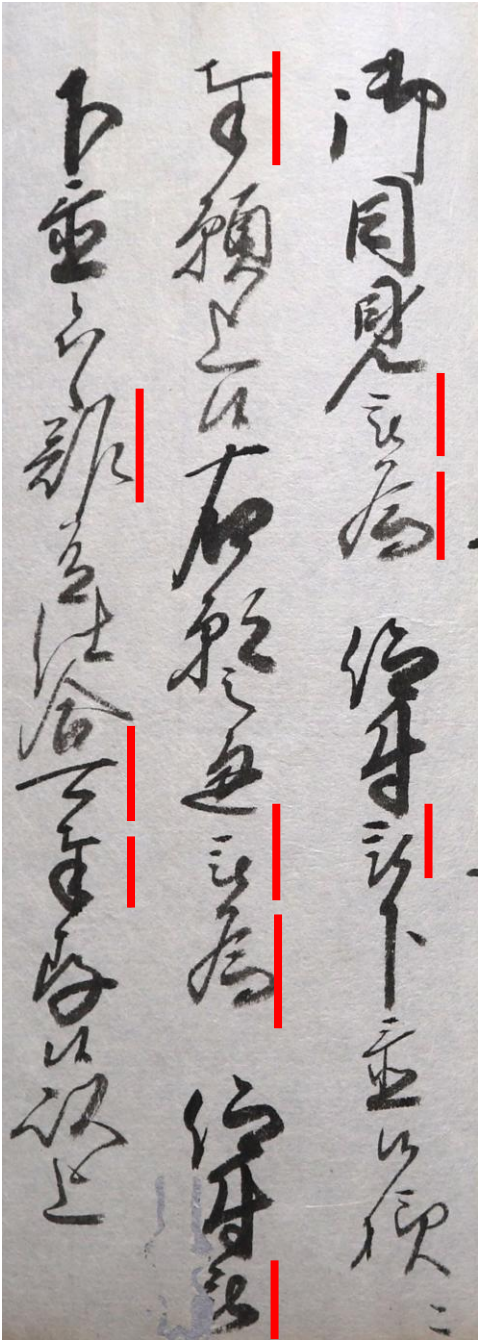
訓読「取調申すべきもの也」

じ	は			願		御
	ば		い	い	下	目
る	有		之	上		見
	難		通	げ	置	仰
	き		り			せ
候	仕		仰	り		付
、	合		せ	候	候	け
以	に		付	、	様	為
上	存	候	け	右	に	

訓読（漢字を入れていきます）

		御
	願	目
候	上	見
ハ	候	被
、	、	為
	右	(闕字)
有		仰
仕	之	付
合	通	
存	(闕字)	候
候	仰	様
、	付	二
以	被	
上		

翻字



この文書は、村の役人が領主に対してお目見えを願い出たもので、敬語をつかい丁寧に述べていることが分かります。敬意を表す闕字（けつじ）が「仰付」の前に二か所あります。

前の頁の答え

懸中

「御田見被_レ悉_レ仰付被_レ下置候様ニ奉願上候、右願之通被_レ悉_レ仰付被_レ下置候ノ、難有仕合可奉存候、以上」

訓読

「御田見仰せ付け為され下し置かれ候様に願い上げ奉り候、右願いの通仰せ付け為され下し置かれ候はば有難き仕合に存じ奉るべく候、以上」

いかがだったでしょうか。

今回は返読文字に着目し、訓読する時は語順を逆にして上に返ることを申し上げてきました。古文書に慣れ親しんでくると、返読文字の存在に気づきます。「奉」であれば「奉願上」や「奉申上」、「可」であれば「可相渡」や「可申」のように続く字句も類推できるようになります。このような経験を積み重ねていくと、古文書を読むことに自信がもてると考えます。

一文字、一文字を読むことも大切ですが、古文書の中で頻出する句は「常套句」としてとらえていくと、読みやすくなります。例えば左の「被下候」（下され候）は、「下さい」という意味ですからよく目にします。この字体に留意しておけば、直感的に読めるようになります。

